

第14回地域の防火防災功労表彰式



平成30年1月23日、第14回地域の防火防災功労賞の表彰式が行われ、東久留米市の滝山住宅管理組合自主防災組織が133団体の応募の中から優秀賞を受賞しました。

この賞は、阪神大震災から10年目の節目にあたる平成16年6月に、地域防災力の向上を図ることを目的に創設され、町会・自治会等の防火防災に関する取組について優秀なものを表彰し、広く都民に紹介するものです。

滝山住宅管理組合では、次頁の取組が評価され受賞しました。ご紹介させていただきます。

防火防災訓練を実施しませんか？お気軽に東久留米消防署 防災安全係(471-0119内線320)までご相談ください！

高齢化団地を守れ！32棟の集合住宅における自主防災組織の取組み

【優秀賞】滝山住宅管理組合自主防災組織（東久留米市）

【経緯】

滝山住宅2街区・3街区32棟1,400世帯を管理している滝山住宅管理組合において、管理組合の防災対応の限界から災害時に少しでも安全な環境を作るため自主防災組織の立上げが要望され、平成10年から数回の会合を開き企画検討を重ねて平成11年5月自主防災組織の立上げに至ったものである。

【活動内容】

- 1 要配慮者リストの作成
高齢化対策として75歳以上の手あげ方式によるアンケート調査で約100名の要配慮者リストを作成し、適宜更新。32棟を8班編成で対応し、市包括支援センターと協力し年2回の定期的な訪問により状況確認と人間関係を密にする活動に活用している。また、エレベーターのない5階建ての集合住宅のため、高層階居住者の避難のためにレスキューマット4セット、担架付リヤカー3台を購入し、防災訓練に合わせて取扱訓練を実施している。
- 2 災害対策本部マニュアルの作成
震度5強を基準に、災害対策本部を立ち上げる等の災害対策本部マニュアルを作成。管理組合と協力して、本部用テント2基、発動発電機4台（ガソリン2、ガス2）、投光器12基（うちLED照明4）、災害対策用仮設テント32基、仮設トイレ32基、アルファ米9,000食（調理用水含む）、飲料水2ℓ6,000本等の備蓄品などの資器材を計画的に整備するとともに、各家庭での備蓄も啓発している。
- 3 避難拠点運営連絡会の設置及び避難所運営マニュアルの作成
市内で他地区に先駆けて避難所と独自に交渉し、市立第七小学校避難拠点運営連絡会を設置。代表が会長となり、近隣の滝山七丁目西自治会、下里自治会、グループホーム白山を巻き込み避難所運営マニュアルを作成。また、年1回、第七小学校、市役所、消防署、防災まちづくりの会、市社会福祉協議会、PTA、近隣民間企業、近隣自治会とともに、防災訓練と合わせた合同避難訓練を企画、実施している。
- 4 消火器等の配布
滝山住宅2街区・3街区全1,400世帯に簡易消火器1器及び住宅用火災警報器1台を管理組合と協力して配布、取り付け。防災訓練に合わせて、天ぷら火災の消火訓練を実施している。
- 5 夜間訓練の実施
夜間の発災に備え、毎年、発動発電機及びLED照明を増強。その取扱要領等を訓練するため、市防災防犯課、市が電源供給の協定を結んでいる事業所と協力して夜間訓練を実施している。
- 6 講習会等への参加
最新の知識を取り入れるため、都備蓄の日セミナー、自主防災組織育成講習会及び防災啓発中央研修会等の講習会に積極的に参加。また、その後会議を開催し情報を構成員にフィードバックしている。



災害対策本部立ち上げ訓練



天ぷら火災消火訓練